

【7月の行事】		
10日(火)	午後 1:30	手づくり・手縫いの会
15日(日)	午後 5:00	区内パトロール (宇堅守の会)
17日(火)	午後 2:00	ミニデイサービス (体操&ストレッチ)
22日(日)	午前 9:00	長寿会がラウンドゴルフ大会 (発電所広場)
24日(火)	午後 1:30	手づくり・手縫いの会
【その他の行事】		
【8月の行事】		
7日(火)	午前 9:30	ミニデイサービス (多世代交流会)
7日(火)	午後 7:00	ビーチ帰宅指導 (宇堅守の会)
11日(火)	午後 4:00	子ども会親子BBQ
14日(火)	午後 2:00	EMゆがふ会
14日(火)	午後 1:30	手づくり・手縫いの会
19日(日)	午後 5:00	区内パトロール (宇堅守の会)
21日(火)	午後 1:30	ビーチ帰宅指導 (宇堅守の会)
24日(金)	午後 4:00	子ども会 道ジュネー (盆エイサー)
28日(火)	午後 1:30	手づくり・手縫いの会
【その他の行事】		
【9月の行事】		
11日(火)	午後 1:30	手づくり・手縫いの会
16日(日)	午後 5:00	区内パトロール (宇堅守の会)
18日(火)	午後 2:00	ミニデイサービス (手工芸)
25日(火)	午後 1:30	手づくり・手縫いの会
調整中	午後	長寿会美化活動
調整中	午後	敬老会
7・8日:うるま市エイサー / 23日:天小運動会 / 30日:うるま市議会議員選挙		

開かれた自治会構想

芝園団地自治会 文化部長 岡崎広樹
埼玉県 川口市 美浜区

一方、芝園団地自治会は、これらの変化に対策を講じてきました。例えば、2007年、通常は自治会員だけに配布する夏祭りの抽選券を、全世帯に配布しました。その狙いは、夏祭りや抽選を楽しんでもらい、外国人住民に自治会へ加入してもらうことでした。その年の抽選会は、中国人住民の方が、1等の5万円分商品券当てましたが、自治会への新規加入はゼロでした。また、生活上の注意事項を日本語で貼り出して見たものの、全く効果はありませんでした。自治会だけでは、日本人住民の苦情に対応しきれなくなり、団地の管理事務所へ直接相談してもらうことになりました。また、これらの改善を管理事務所に依頼しましたが、その効果もなく、両住民の溝は埋まりませんでした。

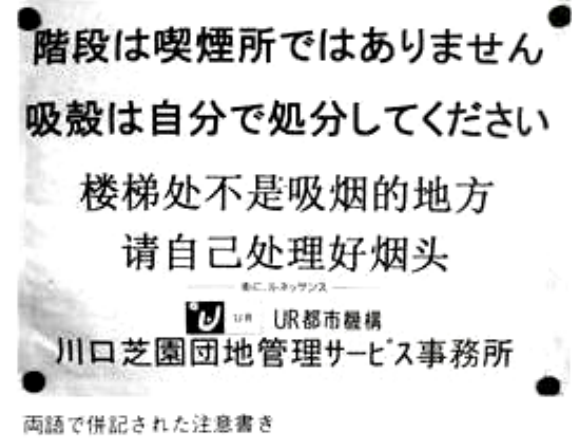
そして、外国人住民が2000人近くになった頃、生活習慣の違いによる問題が、これまで以上に悪化しました。そこで、2011年、自治会は高齢化と国際化に即した住環境の改善について、住民約40名・川口市役所・UR都市機構との協議を開催し、毎日だけでなくいいから中国語の通訳を管理事務所に配置してほしい、という要請などをしました。翌年、中国語の通訳が配置され、入居時に生活規則などを中国語で伝え、注意書きなども日中の両語で併記され

開かれた自治会構想

これら暗中模索の甲斐もあり、依然と比べて環境も改善してきた、という日本人住民の声が聞かれるようになりました。一方で、外国人住民の自治会員は一向に増えません。元来、自治会や町内会は、その地域に住み続けることを前提にした地域概念を、現実に組織化したものです。

しかし、賃貸住宅の住民は、仮の住まいと考えているのが一般的で、自治会に加入しない住民も多くなります。その上、中国には地縁の概念がなく、賃貸住宅には自会のような組織がないと聞きま

「そのメリットは？」と質問されて言葉に詰まることもしばしばです。また、古株の日本人住民が、高齢化に伴い子どもたちの近くに引越す一方で、新しい日本人が、引越してくることは稀です。結果として、空き部屋には、外国人の方が引越してくるため、自治会員は減少すれども増加せずの状態でした。さらに、高齢化していく中で地域とのつながりが希薄化し、日本人住民の自治会員も減り続けて、最大で30名近くいた役員は、2013年にわずか6



両語で併記された注意書き

盆南風

梅雨明けしましたが、台風の影響で大雨。空梅雨でしたので、農家にとっては恵みの雨です。台風8号が発生し、沖縄本島を直撃するコースです。ご用心ください。

蛇 ねらふか蛇の現れぬ
句集『舞扇』(RII作)より
蛇 毒、懐かし。見かけなくなりました。小さい頃、なじみのあるいくつかの植物も(涙)。

空き家について
管理されていない空き家が老朽化し、剥落や倒壊などで、人的・物的被害が生じた場合、損害賠償が生じます。ご注意ください。

投棄ゴミについて

投棄された土地の所有者に処分の義務があります。遊休地を適正に管理することが必要です。ご注意ください。

空き家について

管理されていない空き家が老朽化し、剥落や倒壊などで、人的・物的被害が生じた場合、損害賠償が生じます。ご注意ください。

うるま警察署からの注意喚起

【管内の刑法犯罪発生状況】
公然わいせつ: 1件(安慶名)
方引き: 6件(江洲5・前原)
自転車・オートバイ盗: 4件(みどり町2・前原2)
色ねらい: 4件(みどり町2・安慶名・前原)
置引き: 2件(宇堅・前原)
その他窃盗: 5件(前原・江洲・西原・豊原・南風原)
その他の刑法犯: 4件(喜屋武・平安名)

※短い外出でも確実に施錠して、防犯対策。
※車のロックを確実に。車内に貴重品等を置かない。

◆JKビジネスはノー!!
売春をはじめ、風俗での強制労働等に結びつくケースが二
◆特殊詐欺・架空請求詐欺に注意!
※警察相談窓口(電話) #9110

健診日程

「うるみん」での健診は下記の通りです。
都合の良い日に受診してください。
宇堅の受診呼掛け日は、6月29日です。

注意: 保険証を持参すること
※受付: 午前=8:30 / 午後=1:00

6	19日(火)	11	27日(火)		
	20日(水)		28日(水)		
	24日(日)		12	8日(土)	
	28日(木)			9日(日)	
29日(金)	7	1	22日(火)		
29日(日)			23日(水)		
18日(土)			26日(土)		
8	19日(日)	1	1		
	22日(水)			1	1
	22日(水)				

区長のドクターズ・クルー (編集後記)
水不足を心配したが、台風のおかげで解消されそうです。が、直撃台風が発生! 強烈レベルです。対策を急がねば。逆進税制・お友達議員、定額働かせ放題、水道事業の民営化など、福祉・医療・教育を削り、国民から搾り取る政治。ますます暮らし辛い社会に、私たちの子供・孫の世代が心配です。
「アウシユウィッツ収容所」(ルドルフ・ハス著・片岡 啓治訳/講談社学術文庫)。戦争犯裁判の時期に書かれた回顧録。戦争は人間を悪魔にします。



現在の自治会役員(筆者は右端)

	(5月末)	宇堅 (外国人除く)	うるま市全体 (外国人含む)
	人口(男/女)	1,224 (643/581) Δ9(Δ5/Δ4)	123,502 (61,970/61,532) 52(33/19)
	世帯数	486 Δ2	51,766 75

戦後73年の「慰霊の日」

～平成30年 6月23日～

大人の、国の政治を常に監視し、考え、投票に結び付け、必要とあれば明確な意思表示をすることが責務だと思いません。

当日は約50名が祈りをささげに来られました。ありがとうございます。先月号で紹介した通り、宇堅の戦没者の人数は他の自治会に比較して多い。ほとんどは南洋での戦死です。移民が多かった集落です。平和記念公園においても、祈りがささげられました。「児童・生徒の平和メッセージ」では中学生の朗唱がありました。内容もさることながら、原稿を見ることなく、明朗な響きのある声で胸を打つ姿でした。SNS等で絶賛の声が見られました。こうしたメッセージを児童・生徒から募集することは、戦争の悲惨さを少しでも語り継ぐ、考えさせる契機となり、大切だと思います。過去の「児童・生徒の平和メッセージ」の最優秀賞（高校生の部）を宇堅の名護愛さんが受賞しています。下記に誌を掲載しました。紙面の都合で、改行を省略しています。



未来に向かって 名護愛(二〇〇二年「児童・生徒の平和メッセージ展」高校生の部最優秀賞)

<p>一九四五年八月十五日終戦の日 戦争という名の悲劇から 五十七年経った 今日も平和に向かって 時を刻む音がする しかしまだ戦争は 終わってないのかもしれない 一九七二年五月十五日 沖縄本土復帰の日 その日を前に 先生が「平和」について熱く語る 私は「平和」について 真剣に考える みたことのない戦争を 想像してみる すると 真っ青に晴れた雲一つない空に 米軍機の爆音が響きわたる 先生の声は爆音に消され 生徒の目は音を睨む 戦争はまだ「音」として残っていた 米軍基地の前を 家路に向かうフェンスを背に 暑い日差しを浴びながら 輝く笑顔で子ども達が遊ぶ フェンスの向こう側には 武装した軍人が立っている 日差しに照らされ 汗だくの顔で立っている</p>	<p>腕に持っている銃は 誰に向けたのか 私の目は 銃を睨む 戦争はまだ「武器」として残っていた 五月晴れの 午さがり家族連れの人々 恋人同士 友人同士 人・人・人のあふれる中で 「めぐまれない人へ」のキャッチフレーズと共に 笑うことを忘れて 未来に怯えている少女の瞳が 私を見つめる 私の目は過去を睨む 戦争はまだ「傷跡」として残っていた 六月二十三日慰霊の日 祖父と祖母そして私 正午を告げる鐘 摩文仁に向かって合掌する ふしくれた手 しわが刻まれた その頬に涙が こぼれ落ちる その年老いた目が 見つめる先には何がある のか 私も見つめてみた 戦争はまだ「悲鳴」として残っていた</p>	<p>「爆音」が消え 「武器」は葬られ 「傷跡」は癒され 「悲鳴」は静寂と化す その時 戦争という名の悲劇は 幕を閉じる 地球に生きる人間 動物 自然が 互いの立場を理解し 強調あった その瞬間「平和」はきっと生まれる 私は空を仰いだ 私は大きく息を吸った 私は遙か彼方を見つめた 私は未来を想像した 乾いた大地に 恵みの雨が降る 雨は上がりが 空には 一筋の虹が見える 風が 大地をそっとなでる その風は エイサーの音色とともに 人々の心を癒やし 広い海へ 広い世界へと吹きわたる 平和の意義を 響かせてゆく</p>
---	--	---